

2017年5月9日

ジャカルタ ジャパン クラブ  
会員各位

ジャカルタ ジャパン クラブ  
邦人安全対策連絡協議会

## 1 最近の政治・治安情勢

(1) 4月19日のジャカルタ州知事選挙決選投票の結果、アニス候補が現職のアホック候補を破り、今般、正式に次期ジャカルタ州知事として選出された。

(2) 本日(5月9日)朝から、アホック知事に対する判決公判が南ジャカルタの農業省講堂にて行われている。昨8日に領事メールを送付したが、アホック知事の無罪を要求するグループと、より重い刑を要求するグループによる数千人規模の集会が行われる予定。現時点では衝突は見られないが、引き続き状況を注視する(同発言中、当館政務部より「宗教冒涇罪で禁固2年、執行猶予なし」との判決が下されたとの情報が入ったため、その場で情報提供。今後の情勢を踏まえて、要すれば領事メールを送付して注意喚起等を行う旨発言。)

(3) テロ情勢については、現在、具体的な脅威の情報はないが、断食月(ラマダン)を控えているので、警戒レベルを上げて注意してほしい。一昨年、昨年と、ISILはラマダン期間中のテロを呼びかける声明を發出しており、同声明に呼応するものかは否かは明らかではないが、過去には欧州等でテロ事件が発生しており、昨年7月には、バングラデシュ・ダッカで日本人7名が殺害された襲撃テロが発生した。現時点で今年のラマダン期間にテロを呼びかける声明は確認されていないが、引き続き注視していく。くれぐれも警戒を怠らないようにしてほしい。

## 2 邦人に関わる最近の事件・事故報告

(1) 最近、以下の事件・事案が発生。

日時	場所	被害(未遂状況)
4/20 前後	ジョグジャカルタ	留学中の日本人学生がスキミングの被害に遭った。当地で使用しているゆうちょ銀行のビザカードが、オンラインで20万円ほど使用されているのが判明。
5/1 14時	コタ地区の歴史博物館付近	大道芸を鑑賞していたところ、ポケットに入れていた携帯電話を盗難される事件が発生。
5/1	中央ジャカルタ	在住の国連職員が空き巣の被害に遭い、現金約10万円相当を盗まれる事件が発生。使用人の犯行と思われる。
5/3	ブロックM	カラオケ店にいたところ、複数の警官が入ってきて、身分証明書の提示を求められた。幸い、職員はKITASとパスポートを保持していたので事なきを得たが、ラマダンを控え、警官らが金銭を要求する口実を探しているのかもしれない。
5/4 5時	ブロックM地区	日本食レストランが多数出店する場所で火災が発生。人的被害はなかった模様。漏電が原因とみられている。
5/4 18時		バスに乗っていたところ、ブロックMの手前でミュージシャンがバスに乗り込んできて、金を払うよう要求してきた。インドネシアではよくあることだが、今回

		は刃物をちらつかせて金銭を要求してきた。外国人に限らず、インドネシア人も同様に脅されているものと思われる。
5/8夜	ブロックM	交差点で信号待ちをしていたが、その際、車の左側の後部座席に座り、窓を開けて喫煙しながら携帯電話を操作していたところ、バイクがすぐ横に付き、窓の中に手を入れてきて携帯を取っていった。伸縮するストラップ式のベルトもつけていたが、むしり取られてしまった。

**【対策について】**

- ・貴重品の管理については今一度徹底すること
- ・クレジットカードは、信頼できる店でのみ使用すること
- ・雑居ビルに入る際には、避難経路の確認すること。
- ・自宅等に多額の現金を置いておかないこと

(2) インドネシア警察から、国内のテログループは、近年、外国人よりも警察官をターゲットとしているため、特別な用事がない限り警察署や派出所には近づかないように、との忠告があったので共有する。

**3 報告及び連絡**

(1) この数日間で、ラマダン中の注意喚起やアホック知事判決公判に係る注意喚起など、複数の領事メールを発出している。新しく着任された方に対しても情報が行き渡るよう、在留届提出の徹底をお願いしたい。

(2) 特にラマダン中の注意喚起については、具体例も含めて、当館ホームページにも掲載しているのでご一読いただきたい。警察や入管職員等による査察、検問等が強化されるほか、レバラン期間中の帰省の支度のため、強盗や窃盗等の一般犯罪が増加する傾向がある。例年通り、十分気をつけていただきたい。

**4 質疑応答、各社（団体）からの報告等**

○5月1日よりスカルノハッタ空港第3ターミナルへのガルーダ航空国際線の乗り入れが開始された。これにより、現在、ガルーダ航空の国内線と国際線が第3ターミナルを使用する形となっている。今後ガルーダが所属するスカイチーム系列の航空会社、その他の航空会社の順で移動するのかと照会を受けるが、現時点では不明である。

○先々月、先月と、労働局による人事関連の査察について報告しているが、先月提出した反論に対して返答なく、特段進展はない。

○4月27日、職員宛に怪しい電話がかかってきた。電話をかけてきたのはインドネシア人で、外国人にも分かりやすいようなインドネシア語で「自分のことを覚えているか」と尋ね、職員のパスポート情報を聞き出そうとしてきた。職員は「知らない」と答え電話を切ったので特段問題は発生しなかった。

○関連で、インターネットメールで怪しい連絡が入ることがある。先日、西アフリカの銀

行を語る相手から、お金を請求されるという件があった。ひっかからないように気を付けたい（大使館より、本件は「ナイジェリア詐欺事件」といって、国際的な詐欺の常套手段である旨紹介するとともに注意喚起を行った）。

○ラマダン中の安全面に関する注意事項については、領事メールが非常に役に立った。今後とも何かあれば注意喚起をお願いしたい。

○先日、赴任して間もない職員が、ITASオンラインのコピーを持たないまま一度出国してしまった。インドネシアに戻ってきた際、同書類を保持していなかったため、職員に舌打ちをされたものの、無事再入国することができた。身分証明書の携行については、どこまで現場で周知されているのか。

⇒公式見解は、ITASオンラインのコピーを持っていれば、パスポートの原本を携行する必要はないことになっているが、現場の職員が同内容を必ずしも理解しているとは言い難いというのが現状である。

○ジャカルタ日本人学校では、現在、全校的な安全対策強化を行っている。具体的には、正門開閉の電動化、教室の強靱化、窓の内側からの施錠、パニックルームの設置などである。また、日本大使館からの協力を得て、監視カメラシステムの導入を検討中。

○昨年のダッカの事件を受け、今まで以上に危機意識をもってラマダンを迎える所存。

○レバラン休みの時期について、カレンダーの作成が間に合っているものとそうでないものが出回っており、混乱を招いているので注意が必要。

以上